MA0903-A

CASIO®

P

3160＊JA

取扱説明書

3160

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。
本機を安全に正しくお使いいただくための注意事項「安全上のご注意」を本書に記載しています。本機をご使用になる前に、必ずお読みください。
なお、この説明書は大切に保管し、必要に応じてご覧ください。

ご使用前に十分に光を当ててください

本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくために、本書に従って、光が当たるようにしてお使いください。
（充電時間については、「電源について」をご参照ください）

安全上のご注意

絵表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△ 記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。
（左の例は感電注意）

⊘ 記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。
（左の例は分解禁止）

● 記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。
（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。
※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。

電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

⚠注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

⚠注意

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

オートライト作動時のご使用について

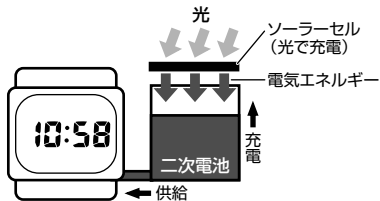
オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

目次

十分に光を当ててご使用ください

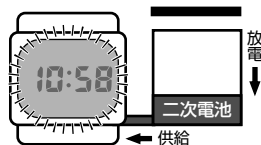
本機は、光で発電した電気を充電しながら使うようになっております。
安定してお使いいただくためには、本機のソーラーセルに光が当たるようにしてお使いください。

●光が当たっているときと当たらないとき

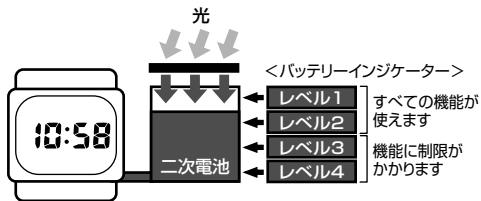
〈光が当たっているとき〉

〈光が当たっていないとき〉

時計は光が当たらないときでも常に動いていますので、このままでは二次電池の電圧低下のため機能が使えなくなります。

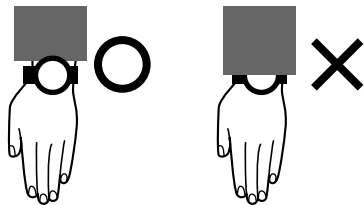
●ライト（表示用照明）をたくさん使うと

ライトを多用すると二次電池の電圧が早く低下します。

オートライト機能を使うと、頻繁にライトが点灯する状態になりますのでご注意ください。

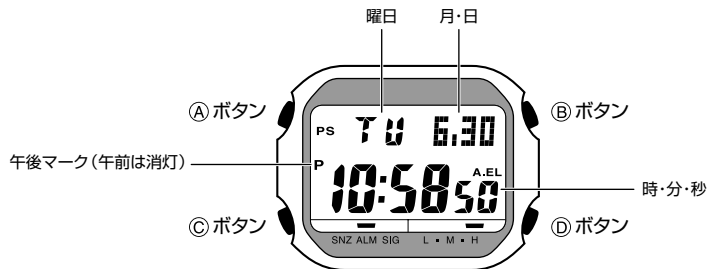
●時計に光が当たるようにしましょう

- 電池容量を示すバッテリーインジケーターがレベル３になると機能に制限がかかりますので、レベル１、レベル２を保つように光を当ててください。

- 腕から外したときは表示面（ソーラーセル）を明るい方に向けて置くなどして、充電を心掛けてください。

蛍光灯下や窓際などの光が当たる所に置いてください。

- 腕に付けているときはなるべく袖が表示面（ソーラーセル）にかからないように使用してください。

一部でも袖に隠れていると、発電効率が著しく低下します。

操作のしくみと表示の見方

時刻モード

●Ⓒ ボタンを押すと確認音が鳴り、ワールドタイムモード、アラームモード、ストップウオッチモード、タイマーモードに切り替わります。

P-17

Ⓒ

P-19

Ⓒ

P-22

Ⓒ

P-23

Ⓒ

操作音について

モード切替え時などに鳴る操作音のON／OFFを切り替えることができます。

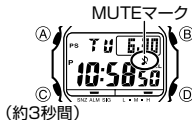
●操作音の ON/OFF 設定

セット中（表示点滅）以外、どのモードのときでも Ⓒ ボタンを約 3 秒間押し続けます

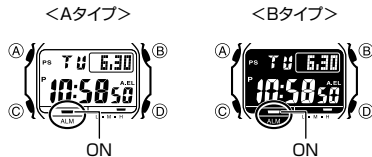
➡確認音が鳴り、操作音のON／OFFが切り替わります。

※操作音を OFF にしているときは、MUTEマークが点灯します。

※Ⓒ ボタンを押したときに、モードも切り替わりますので、ご注意ください。

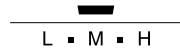
※操作音がOFFでも、アラーム、時報などの報音は鳴ります。

液晶表示について

製品によって、液晶表示のタイプが異なります。
なお、本書に記載しているイラストは、視認性を考慮して「白地に黒」で描写しております。ご使用になる製品によっては、本書に記載しているイラストの黒い部分（「時刻」、「機能がONになっているときに点灯するインジケーターやマーク」など）が、「白または他の色で表示される」と置き換えてご覧ください。

※液晶表示のタイプは製品によって決まっているため、1つの製品でタイプを切り替えることはできません。

電源について

本機はソーラーセルで発電し、二次電池に充電しながら使うようになっております。
光が当たりにくい場所での保管および使用、長袖で本機が隠れたままの使用が長時間続きますと、二次電池が消耗して表示しなくなることがあります。
安定してご使用いただくために、なるべく光が当たるようにしてお使いください。

●バッテリーインジケーター（H、M、L）が点滅している場合

ライトやアラームなどを短時間に連続して使用し、電池に大きな負担がかかった場合、バッテリーインジケーターが点滅して、一時的に以下の操作ができなくなります。

- EL バックライトの点灯
- アラーム、時報などの報音

この場合は、時間がたてば電池電圧が復帰し、使用できるようになります。

●バッテリーインジケーターの見方

レベル	表示	機能
レベル1	L ▪ M ▪ H	すべての機能が使用可能
レベル2	L ▪ M ▪ H	すべての機能が使用可能
レベル3	L　LOW	EL点灯不可、アラーム、時報などの報音不可
レベル4	CHG ※CHG（Charge）マークが点滅	液晶表示不可、EL点灯不可、アラーム、時報などの報音不可
レベル5	L ▪ M ▪ H	時計機能停止（時計発振不可）

※直射日光下などの強い光で充電した場合、バッテリーインジケーターが一時的に実際の電池容量より高いレベルを表示することがあります。レベルは充電後しばらくしてから確認してください。
※レベル5になっても再度充電を行なうことで使用できます。
※レベル5から充電したときは、レベル4になると表示が点灯し、C（Charge）マークが点滅します。ただし、この状態では機能が使用できませんので、レベル2またはレベル1になるまで十分に光を当ててから、ご使用ください。
※レベル5になるとホームタイム都市がリセットされTYOに戻ります。TYO以外のホームタイム都市を設定していた場合は再度、設定し直してください。

●充電必要サイン

レベル3、レベル4の状態は、電池残量が極端に少なくなっています。このときは、本機を光に当てて、十分に充電を行なってください。
また、頻繁にバッテリーインジケーターが点滅する場合も電池残量が少なくなっていますので光を当てて充電してください。

●充電時のご注意

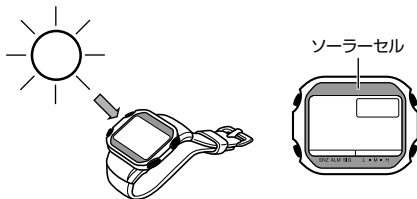
以下のような高温下での充電はお避けください。

- 炎天下に駐車中の車のダッシュボード
- 白熱ランプなどの発熱体に極端に近い所
- 直射日光が長く当たって、高温になる所

なお、極端な高温下では液晶パネルが黒くなることがありますが、温度が下がれば正常に戻ります。

充電の際、光源の条件によっては時計本体が極端に高温になることがありますので、やけどなどをしないようにご注意ください。

●充電のしかた

本機のソーラーセル部を光源に向けます。
※ソーラーセルの一部が隠れていると充電効率が下がりますので、ご注意ください。

※イラストは樹脂バンドの場合です。

●充電の目安

●1 日、安定した状態で時計を使用するために必要な充電時間

※下記の条件で使用した場合

- ライト:1.5秒間/日
- アラーム報音:10秒間/日
- 表示点灯:18時間/日

※こまめに充電を行なえば、安定した状態でご使用いただけます。

環境(照度)	充電時間
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約5分
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約24分
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約48分
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	約8時間

●各レベルに回復するための充電時間

環境(照度)	充電時間			
	レベル5➡レベル4➡レベル3		レベル3➡レベル2	レベル2➡レベル1
晴れた日の屋外など(50,000ルクス)	約2時間		約20時間	約6時間
晴れた日の窓際など(10,000ルクス)	約8時間		約99時間	約27時間
曇り日の窓際など(5,000ルクス)	約15時間		約201時間	約54時間
蛍光灯下の室内など(500ルクス)	約171時間		———	———

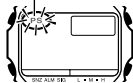
※この充電時間は目安のため、実際の環境下においては充電時間が異なる場合があります。

パワーセービング機能について

パワーセービング機能とは、暗いところに放置すると自動的に液晶表示を消してスリープ状態にし、節電する機能です。本機は工場出荷時に「パワーセービング機能」をONに設定してあります。

※時計が袖などで隠れている場合でも、表示が消えることがあります。

●スリープ状態になるには

- 表示スリープ
  午後10時〜午前6時の間、暗いところで本機を約1時間放置します。
  ※タイマーモード、ストップウオッチモードのときは、スリープ状態になりません。
  ➡液晶表示が消え、パワーセービングマークが点滅します。
  アラーム、時報などの報音は鳴ります。

- 機能スリープ
  表示スリープのまま暗いところで6〜7日間経過します。
  ➡パワーセービングマークが点滅から点灯にかわります。
  アラーム、時報などの報音も鳴りません。
  ※時計機能は正常に作動しています。

●スリープ状態を解除するには

- 本機を明るいところに置く
- 本機のいずれかのボタンを押す
- 本機をオートライト機能が動作する角度まで傾ける(15ページ)

※本機を明るいところに出した場合は、表示が点灯するまでに最大2秒かかる場合があります。

●パワーセービング機能のON/OFF

パワーセービング機能を働かせなくするには27ページをご覧になり、パワーセービング機能をOFFにしてください。

机の中などに長期間しまっておくときは、パワーセービング機能をONにしておけば、節電効果があります。

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部には EL パネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、暗い場所で時計を傾けると自動的にライトが点灯するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して点灯させる ～手動点灯～

どのモードのときでも、

Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓑ ボタンを押すとライトが点灯します。

※オートライト OFF のときも Ⓑ ボタンを押すと点灯します。

本機を振ると「カラカラ」と音がすることがあります。これはオートライト機能のためのスイッチ（金属球）が内部で動くための音で、故障ではありません。

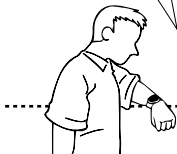
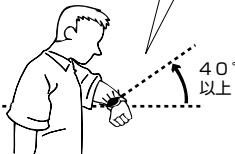
■ 時計を傾けて点灯させる ～オートライト機能～

どのモードのときでも、時計を傾けるだけでライトが約 1.5 秒間点灯します。

※明るいときは、自動点灯しません。

準備：時刻モード（セット中以外）で、Ⓑ ボタンを約３秒間押し続けて、オートライトON（**A.EL** 点灯）にします。

※オートライト ON のとき、Ⓑ ボタンを約 3 秒間押し続けるとオートライト OFF（**A.EL** 消灯）に戻ります。

●ライトを点灯させる

※オートライト機能を使用するときは、時計を**「手首の外側」**にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時－9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると表示しにくくなります。

〈ライト点灯についてのご注意〉

- ●直射日光下では点灯が見えにくくなります。
- ●点灯中にアラームなどが鳴り出すと点灯を中断します。
- ●点灯中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

- ●オートライトを頻繁に使用すると電池の持続時間が短くなりますのでご注意ください。
- ●時計が服の袖に隠れるようにつけると、明るいときでもオートライトが点灯することがあります。
- ●時計を傾けたとき、ライトの点灯が一瞬遅れることがありますが異常ではありません。
- ●ライト点灯後、時計を傾けたままにしておいても、点灯は約1.5秒間のみとなります。
- ●バッテリーインジケーターがレベル4になると、自動的にオートライトOFFになります。
- ●時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても点灯することがあります。**オートライトを使用しないときは必ずOFF**にしておいてください。

※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。

- ●静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、点灯しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも点灯しにくいときは、腕を下からふりあげてみると点灯しやすくなります。

ワールドタイムの使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムモードでは、世界48都市（29タイムゾーン）の時刻を知ることができます。

※ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の時刻を表示します。
※ワールドタイムの「秒」は基本時刻の「秒」に連動しています。
※ホームタイム（基本時刻）を24時間制にしているときは、ワールドタイムも 24 時間制で表示されます。

ご注意
ワールドタイムが合っていないときは、時刻モードの時刻およびホームタイム都市設定を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

* セットについては 25 ページ参照。

■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとに都市コードが進みます。
※押し続けると早送りします。

■サマータイム（DST）について

サマータイムとはDST（Daylight Saving Time）とも言い､通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご注意ください。

■サマータイムのON／OFF設定

準備：ワールドタイムモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、設定したい都市を選びます。

Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けます

➡Ⓐ ボタンを約２秒間押し続けるごとにサマータイムのON／OFFが切り替わります。

※サマータイムがONのときは、DSTマークが点灯して、通常の時刻より１時間進みます。

※各都市ごとにサマータイムを設定することができます。ただし、“UTC”表示のときはサマータイムの設定はできません。

※ホームタイムで設定している都市をサマータイムONにしたときは、ホームタイム（基本時刻）もサマータイムONになります。

■都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
UTC	0	〈協定世界時〉	SEL	+9	ソウル
LIS	0	リスボン	TYO	+9	東京
LON	0	ロンドン	ADL	+9.5	アデレード
MAD	+1	マドリード	GUM	+10	グアム
PAR	+1	パリ	SYD	+10	シドニー
ROM	+1	ローマ	NOU	+11	ヌーメア
BER	+1	ベルリン	WLG	+12	ウェリントン
STO	+1	ストックホルム	PPG	−11	パゴパゴ
ATH	+2	アテネ	HNL	−10	ホノルル
CAI	+2	カイロ	ANC	−9	アンカレジ
JRS	+2	エルサレム	YVR	−8	バンクーバー
MOW	+3	モスクワ	LAX	−8	ロサンゼルス
JED	+3	ジェッダ	YEA	−7	エドモントン
THR	+3.5	テヘラン	DEN	−7	デンバー
DXB	+4	ドバイ	MEX	−6	メキシコシティ
KBL	+4.5	カブール	CHI	−6	シカゴ
KHI	+5	カラチ	MIA	−5	マイアミ
DEL	+5.5	デリー	YTO	−5	トロント
DAC	+6	ダッカ	NYC	−5	ニューヨーク
RGN	+6.5	ヤンゴン	SCL	−4	サンティアゴ
BKK	+7	バンコク	YHZ	−4	ハリファックス
SIN	+8	シンガポール	YYT	−3.5	セントジョンズ
HKG	+8	香港	RIO	−3	リオデジャネイロ
BJS	+8	北京	RAI	−1	プライア
TPE	+8	台北			

※この表は2008年6月現在作成のものです。

※この表の時差は協定世界時（UTC）を基準としたものです。

※各国の時差およびサマータイムは国の都合により変更されることがあります。

アラーム・時報の使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、アラームモードにします。

■ アラームについて

●通常アラーム（AL1 ～ AL4）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴ります。

●スヌーズアラーム（SNZ）

設定した時刻になると 10 秒間の電子音が鳴り、5 分おきに合計 7 回報音を繰り返します。
なお、ボタンを押して音を止めても再び鳴り出します。

●時報（SIG）

毎正時（00 分）に時報を鳴らすこともできます。

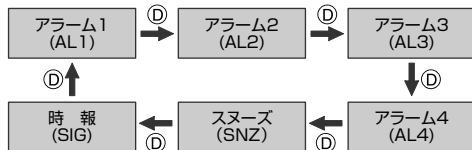
■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

アラームモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに以下の順で表示が切り替わりますので、設定したいアラームを選びます。

※ アラームモードに切り替えた直後は、前回このモードで最後に表示していたアラームを表示します。

2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➟「時」が点滅します。

※ アラームマークが点灯して、自動的にアラームがONになります。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

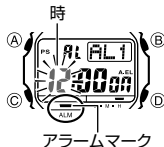
3.「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➟ Ⓓボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。

※ それぞれ押し続けると早送りします。

※「時」のセットのとき午前／午後（P）または24時間制にご注意ください。

※ 基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も24時間制で表示されます。

4.「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➟「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

5. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➟ 点滅が止まり、セット完了です。

■アラーム・時報のON／OFF設定

準備：アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押して、鳴らしたいアラームを選びます。また、時報を鳴らしたいときは時報表示を選びます。

Ⓐ ボタンを押します

➡ Ⓐボタンを押すごとにアラームまたは時報のON／OFFが切り替わります。

※それぞれのマークが点灯しているときが ON となり、アラーム・時報が鳴ります。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

■モニターアラーム

アラームモードのとき、Ⓓ ボタンを押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ストップウオッチの使い方

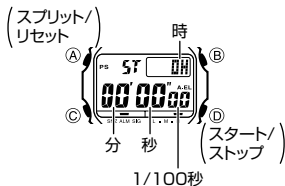
8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい
Ⓒ ボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

ストップウオッチは 1/100 秒単位で 23 時間 59 分 59 秒 99（24 時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に 0 に戻って計測し続けます。

■計測のしかた

ストップウオッチモードのとき、

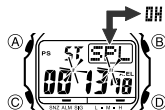
Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート／ストップします。

- 計測中に Ⓐ ボタンを押すと、表示は止まりますが、内部では計測を続ける**スプリット計測**となります（SPL 表示）。
  ※スプリット計測中にモードを切り替えると、スプリットは解除されます。
- 計測ストップ時にⒶボタンを押すと、計測値が0に戻ります（リセット）。

●通常計測

積算計測… ロスタイムのあるときは、ストップ後リセットせずに Ⓓ ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測を始めます。

●スプリットタイム（途中経過時間）の計測

<スプリット計測中>

●1・2 着同時計測

タイマーの使い方

8ページの「操作のしくみと表示の見方」にしたがい Ⓒ ボタンを押し、タイマーモードにします。

タイマーは 1 分単位で 24 時間までセットできます。セットした時間を経過（タイムアップ）すると 10 秒間の電子音が鳴ります。

■ タイマーのセット

1. セット状態にする

タイマーモード（リセット状態）のとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡「時」が点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2.「時」をセットする

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡ Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※ それぞれ押し続けると早送りします。

※「24 時間」をセットする場合は、「0：00」とセットしてください。

3.「分」をセットする

Ⓒ ボタンを押します

➡「分」が点滅します。
「分」も「時」と同様に Ⓓ または Ⓑ ボタンでセットします。

4. セットを終わる

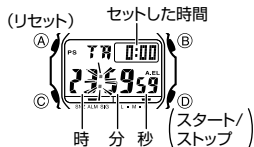
Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

■タイマーの使い方(減算計測のしかた)

タイマーモードのとき、

Ⓓ ボタンを押します

➡ Ⓓボタンを押すごとに、計測がスタート/ストップします。
※1 秒単位で計測を行ないます。

- 計測ストップ時にⒶ ボタンを押すと、計測前の表示に戻ります(リセット)。
- ロスタイムがあるときは、Ⓓ ボタンでストップ後、もう一度Ⓓ ボタンを押すと表示タイムに引き続き計測を始めます。

■鳴っている電子音を止めるには

いずれかのボタンを押すと音が止まります。

ホームタイムデータ(時刻・カレンダー)の合わせ方

ホームタイムデータのセットとは、お使いになる地域（都市）や時刻・カレンダー等を合わせることです。
※ホームタイムデータのセットや修正は時刻モードで行ないます。
※パワーセービング機能の ON ／ OFF 設定も以下の操作で行ないます。

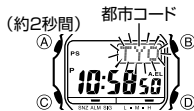
■ セットのしかた

1. セット状態にする

時刻モードのとき、

Ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

➡都市コードが点滅します。

※ セット状態で2〜3分間何も操作を行なわないと、自動的にセット状態が解除されます。

2. ホームタイム都市を選ぶ

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓボタンを押すごとに都市コードが進み、Ⓑボタンを押すごとに戻ります。本機をお使いになる地域（都市）を選びます。

＊ 18ページ「都市コード一覧」参照。

※ Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りします。

3. 「サマータイム設定」にする

Ⓒ ボタンを押します

➡サマータイムの切り替えになります。

4. サマータイムを切り替える

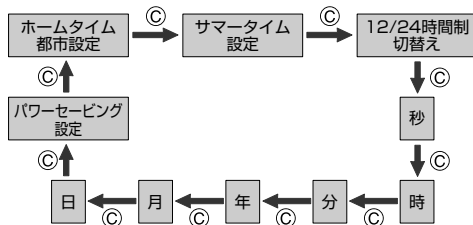
Ⓓ ボタンを押します

➡Ⓓ ボタンを押すごとにサマータイムの設定が切り替わります。

● OFF サマータイムは OFF になります（通常時間）。
● ON サマータイムは ON になります（夏時間）。 ※セット完了後、DSTマークが点灯して、通常の時刻より 1 時間進みます。

5. セット箇所を選ぶ

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒ ボタンを押すごとに以下の順で点滅箇所が移動しますので、設定したい箇所を点滅させます。

6. 点滅箇所のセット

Ⓓ または Ⓑ ボタンを押します

➡Ⓓ または Ⓑ ボタンで点滅箇所をセットします。

a.「12/24 時間制切替え」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとに12時間制表示“12H”と24 時間制表示“24H”が切り替わります。

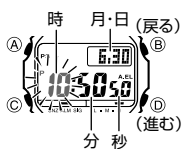
b.「秒」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すと「00 秒」からスタートします。

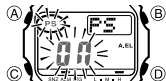
※秒が 00 〜 29 のときは切り捨てられ、30〜59のときは1分繰り上がって「00秒」になります。(時報は「時報サービス 117 番」が便利です)

c.「時」「分」「年」「月」「日」セットのとき

Ⓓ ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進み、Ⓑ ボタンを押すごとに戻ります。

※Ⓓ・Ⓑ ボタンとも、押し続けると早送りができます。

d.「パワーセービング設定」のとき

Ⓓ ボタンを押すごとにパワーセービング機能のON／OFFが切り替わります。

※パワーセービング機能を On にすると、パワーセービングマークが点滅します。

Ⓒ ボタンを押して点滅箇所を移動させ、Ⓓ または Ⓑ ボタンを押してセットする操作を繰り返して、時刻・カレンダーを合わせます。

※「時」のセットのとき午前／午後（P)、または24 時間制にご注意ください。

※「年」は2000年〜2099年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が算出されます。

※カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーです。

7. セットを終わる

Ⓐ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
精　　　　度：平均月差± 15 秒以内
基　本　機　能：時・分・秒、
午前／午後(P)／24時間制表示
曜日・月・日、フルオートカレンダー
(2000～2099年)
ワールドタイム機能：世界 48 都市（29 タイムゾーン）の時刻を表示、サマータイム設定機能
アラーム機能：時刻アラーム
アラーム数＝5 本（内スヌーズ 1 本）
セット単位＝時・分
電子音＝ 10 秒間
時報　毎正時に 2 回電子音で報知
ストップウオッチ機能：計測単位＝ 1/100 秒
計測範囲＝ 23 時間 59 分 59 秒 99
(24 時間計)
計測機能＝通常計測、積算計測、
スプリット計測、
1・2 着同時計測
タイマー機能：セット単位＝ 1 分
計測範囲＝ 24 時間
計測単位＝ 1 秒
タイムアップを10秒間の電子音で報知

そ　の　他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替え、EL（エレクトロルミネッセンス）バックライト、オートライト、モニターアラーム、パワーセービング機能、
バッテリーインジケーター表示、操作音 ON/OFF 設定
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子
ワンチップ CMOS-LSI
使　用　電　池：二次電池
持　続　時　間：約 11ヵ月
(ライト1.5秒間／日、電子音10秒間／日、表示点灯18時間／日)
※ライトを頻繁に使用すると、電池の持続時間が短くなります。

ご使用上の注意

■防水性

● 防水時計は時計の表面または裏蓋に「WATER RESIST」「WATER RESISTANT」と表示されているもので、次のように分類されます。

		日常生活用防水	日常生活用強化防水		
			5気圧防水	10気圧防水	20気圧防水
表示	時計の表面または裏蓋に表記	「BAR」表記無し	5BAR	10BAR	20BAR
使用例	洗顔、雨	○	○	○	○
	水仕事、水泳	×	○	○	○
	ウインドサーフィン	×	×	○	○
	スキンダイビング(素潜り)	×	×	○	○

※ 専門的な潜水＝スキューバダイビング（空気ボンベ使用）でのご使用はお避けください。

● 時計の表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANTと表示されていないものは防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

● 防水構造の機種でも水中や、水分のついたまま、りゅうずやボタンの操作をしないでください。

● 防水構造の機種でも、時計をつけたままの入浴、洗剤等（石鹸・シャンプーなど）のご使用をお避けください。防水性能を低下させる原因となります。

● 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

● 防水性を保つために定期的（2～3年を目安）なパッキン交換をおすすめします。

● 電池交換の際、防水試験を行ないますので、必ずお買い上げの販売店あるいは最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください（特殊な工具を必要とします）。

● 防水時計の一部にデザイン上、皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

● 時計が急冷された場合など、ガラスの内側が曇ることがありますが、すぐに曇りが無くなるようであれば特に問題はありません。曇りが消えなかったり、水が時計内部に浸入した場合は、そのままご使用にならず、ただちに修理することが必要です。

● 時計内部に浸入した水は、電子部品や機械、文字板などを破損する原因となります。

■バンド

● バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。

● バンドは劣化やさび（錆）などにより切れたり外れたりする場合があり、時計の落下や紛失の原因となります。バンドは、常にお手入れしていただき、清潔にご使用ください。
バンドに弾力性がなくなったり、ひび割れ・変色・緩みなどがある場合は、お早めに点検・修理（有償）または新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換（有償）をお申し付けください。

■温度

- 自動車のダッシュボードや暖房器具の近く等の高温になる場所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったり、故障の原因となります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。液晶表示は、0℃以下や＋40℃以上では、表示が見えにくくなることがあります。

■ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると、故障の原因になります。
  ただし、耐衝撃構造の時計の場合（G-SHOCK/Baby-G/G-ms）は腕につけたままでチェーンソーなどの強い振動や、激しいスポーツ（モトクロスなど）でのショックを受けても時計には影響ありません。

■磁気

- 通常、磁気の影響はありませんが、極度に強い磁気（医療機器など）は誤動作や電子部品を破損する恐れがありますのでお避けください。

■静電気

- 静電気により誤った時刻を表示したりします。また、極度に強い静電気は、電子部品を破損する恐れがあります。
- 静電気により、一時的に液晶の点灯していない部分ににじみ現象が発生することがあります。

■薬品類

- シンナー、ガソリン、各種溶剤、油脂またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類等が付着すると、樹脂ケース、樹脂バンド、皮革などに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■樹脂製品について

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が樹脂製品に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま放置すると色あせする場合があります。
- 塗装部品は、使用状況（過度の外力、連続したこすれ、衝撃等）により磨耗し色落ちしたりすることがあります。
- バンドにプリントがしてある場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。
- 蛍光商品は、長時間濡れたままにしておくと色が落ちる恐れがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
- スケルトン（透明）仕様の部品は、汗や汚れ等の吸収や高温多湿への放置により変色を起こすことがあります。
- 樹脂部品の交換は、最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にお申し付けください。有償にて申し受けます。

■天然皮革・合成皮革バンドについて

- 長時間、他の製品と密着させたり、濡れたまま他の製品と一緒にしておくと、他の製品に色が移行したり、他の製品の色が天然皮革や合成皮革に移行したりすることがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、他の製品に密着させたままにしないでください。
- 長時間、直射日光（紫外線）に当てたり、汚れが付着したまま長時間放置すると色あせする場合があります。

ご注意：天然皮革・合成皮革は、摩擦・汚れにより色を移したり、色落ちすることがあります。

■金属製品について

- 金属を使用した製品・バンドは、ステンレスやメッキ品でも汚れたままご使用になりますと、さび（錆）が発生することがあります。汗をかいたときや水に濡らしたときは、柔らかい吸湿性の良い布などで良く拭き取った後に、通気性の良い場所に保管し、良く乾燥させてください。
- バンドは、時々、柔らかい歯ブラシなどにより、中性洗剤を水で薄めた液や石鹸水でバンドを洗って､良く手入れをしてください。このとき、時計の本体にかからないようご注意ください。

■抗菌防臭バンドについて

- 抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、においの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

■液晶表示について

- 液晶表示は、見る方向によって表示が見えにくくなることがあります。

万一、本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても､当社では一切その責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- ケース･バンドは汚れからさびが発生し､衣服の袖口を汚したり､皮膚がかぶれたり時計の性能が劣化することがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとさび易くなります。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが､人体および衣服への影響はありません｡また布等で簡単にふきとることができます。
- 皮革バンドは乾いた布で軽く拭くなどして常に清潔にしてご使用ください｡樹脂バンドも皮バンド同様､日々の使用により劣化し､切れたり折れたりする場合があります。
- バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げの販売店または最寄りのカシオテクノ修理相談窓口にバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても有償にて申し受けます。
- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。

■お手入れを怠ると

〈さび（錆）〉

- 時計で使用している金属はさびにくい性質ですが、汚れによりさびが発生します。

  ※汚れにより酸素が絶たれると、表面の酸化皮膜が維持できなくなり、さびが発生します。
- 表面はきれいでも､すきまに付着した汚れやさびがしみ出して､衣類の袖を汚したり、皮膚がかぶれたり、時計の性能が劣化することがあります。

〈劣化〉

- 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に放置すると経年劣化し、切れたり、折れたりすることがあります。

〈かぶれ〉

- 皮膚の弱い方や体調により、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをしてください。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

本製品で使用している電池について

● 専用の二次電池を使用しておりますので、お客様は電池を取り外さないでください。専用の二次電池以外の電池を入れると時計の破損の原因になります。
● 二次電池は、ソーラーセルが受ける光により充電されますので、定期的な電池交換の必要はありません。ただし、長年の充電と放電を繰り返すことにより性能が劣化して、充電しても使用時間が短くなることがあります。その場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

金属バンドの駒詰めについて

金属バンドの駒詰めには専用の工具が必要となります。
お取り扱いによる、部品の変形や破損、またはケガ等を予防するためにも、お買い上げの販売店にご相談ください。
なお、カシオテクノ・サービスステーションにおいても保証期間内は無償、保証期間経過後は有償にて承っております。
詳しくは、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションまたはカシオテクノ修理相談窓口へお問い合わせください。